



こんにちは

議会です！

きたもと議会だより



第8回議会報告会を開催

去る10月10日(土)に北部公民館(写真上)、
及び11日(日)にコミュニティセンター(写真右)
において議会報告会を開催しました。

● 主な内容

9月定例会……②

一般質問……③～⑤

議会・委員会の動き……⑥～⑦

提出案件の結果等……⑧

会期日程

8月27日(木)本会議(開会)
8月28日(金)議案調査日
8月31日(月)議案調査日
9月1日(火)議案調査日
9月3日(木)本会議(総括質疑)
9月4日(金)本会議(委員会付託)
9月7日(月)委員会(保健福祉・建設経済)
9月8日(火)委員会(総務文教)
9月9日(水)委員会(総務文教・建設経済)
9月10日(木)委員会(保健福祉)
9月11日(金)本会議(一般質問)
9月14日(月)本会議(一般質問)
9月15日(火)本会議(一般質問)
9月16日(水)本会議(一般質問)
9月18日(金)本会議(閉会)

No 94

平成27年(2015)11月1日発行

編集 議会広報委員会

発行 北本市議会

北本市本町1-111

TEL 048-591-1111・

FAX 048-591-6335

www.city.kitamoto.saitama.jp/shigikai/

9月定例会

平成26年度 一般会計 特別会計 歳入歳出決算を認定

8月27日から9月18日までの23日間の会期で開かれた定例会では、市長提出議案20件、委員会提出議案1件、議員提出議案2件、請願1件を慎重に審議しました。

特に、条例の制定及び改正のうち、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等の法律、いわゆるマイナンバー制度に関わる3つの条例が提出され、挙手多数により可決しました。

今定例会で審議された市長

提出議案のうち、質疑がなされた議案について、その主なものを掲載します。

議案第45号 平成26年度北本市一般会計歳入歳出決算の認定について

総括質疑通告者

横山 功（平成会）
工藤日出夫（緑風会）
湯沢美恵（日本共産党）
渡邊良太（みらい）
島野和夫（公明党）

※通告順に掲載

Q、平成26年度の事業執行と財政運営の課題について

A、平成26年度北本市一般会計決算については、歳入決算額218億8,234万1千円、歳出決算額209億4,317万5千円で歳入歳出差引額は9億3,916万6千円となりました。実質収支は、8億8,706万6千円となり、25年度と比較して7,924万4千円、9・8%の増となったところ です。予算現額に対する収入率と執行率を25年度と比較すると26年度はより予算に沿った執行ができたと考えています。

市民の税金を有効に活用するという観点から、執行額が予算額に近づくことが望ましく、

より精緻な予算編成に今後とも取り組んでいきます。

Q、平成26年度の新規及び主たる事業について

A、平成26年度の少人数学級編制については中丸、北、東の各小学校に4名の市費教員を配置しました。それにより市内小学校1学級平均在籍児童数が1・2年生は24・9人、3・4年生は27・9人となりました。少人数学級を実施することにより子どもたちの学習面や生活面、保護者への対応の面で大きな成果がありました。

北本市放課後子ども教室については、多くのスタッフの参画のもと市内小学校8校全

校で給食のある月曜から金曜までの放課後に実施をしています。宿題等の自主的な学習を行う学びの時間、スポーツや文化的活動を行うふれあいの時間を行っています。今後より一層推進させていくよう努めていきます。

次に、バス路線の充実策として、人口が集中しているものの路線バスの未運行地域で多くの方から要望いただいていた南団地周辺及び東間深井地域に、26年10月1日から新規バス路線が2路線運行を開始しています。

デマンドバスについては予約が取りづらい状況を解消し、利便性を高めるため26年7月23日から車両を3台から4台に増車し、余裕ができたことで予約しやすくなったものと考えています。

次に24年度から東保育所内に病後児保育室を開設し、傷病の回復期にある児童の一時預かり事業として病後児保育事業を行ってきましたが、加えて、急性期を超えた症状安定期から回復期までの児童の一時預かり事業として北里メディカルセンター内で病児保育事業を26年10月1日から開始しました。

また、予防接種法に基づく定期予防接種に26年10月1日から高齢者肺炎球菌と水痘の予防接種が新たに追加されました。各予防接種は市広報並びに市ホームページでの周知に加え、対象の方々に個人通知を行い、忘れずに接種をしていたらけるよう配慮しました。

さらに、健康増進法に基づく胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮がん検診について受診率向上のため5つのがんを同時に受診できるよう集団検診の方法を見直したほか、女性特有の乳がん、子宮がんについては、医師、検査技師等の従事者を女性スタッフとするとともに、子育て世代に積極的に検診を受けていただくよう保育の充実を図りました。

【紹介】

今定例会において同意されました方を紹介します。

○教育委員会委員

住所 桶川市大字下日出谷
872番地の70
氏名 鈴木義信氏

市政に対する一般質問

一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをただすもので、定例会に限って行われます。質問方式は、一問一答方式または一括質問一括答

弁方式との選択制で実施しています。

今定例会では、16人の議員から61件84項目について質問がありました。その中から主なものの答弁を掲載しました。

平成27年第3回定例会から、一問一答方式を選択した場合、質問回数の制限を廃止しました。

雨水対策

問1 雨水貯留タンクの設置への助成について

答1 平成26年5月に雨水の利用の促進に関する法律が施行され、県内自治体でも家庭用の雨水貯留タンクの設置への補助金を交付し

ているところがありますが、本市では補助金の制度は設けていません。雨水の有効利用は有意義なことと認識していますので、関係部署と調整・検討します。

等には当たらない場合は指導する根拠がありません。主な対策は地下に浸透させる方法で、個人の住宅では雨水浸透枳の設置により雨水流出抑制になります。市内では大雨の時に水路が溢れる箇所が複数ありますので、市内全体の雨水排水計画を検討する必要がありますため、計画の際に各家庭の雨水浸透施設への助成を費用対効果等併せて検討します。

大嶋達巳（みらい）

- ・待機要介護者
- ・自主財源の確保
- ・中学生海外ホームステイ

他1件

高橋伸治（みらい）

- ・教育
- ・女性の活用
- ・人口問題

※質問通告順に掲載

9月定例会 一般質問

湯沢美恵（日本共産党）

- ・選挙対応
- ・学校給食
- ・交通安全対策

加藤勝明（平成会）

- ・人口減少問題
- ・圏央道開通
- ・道路行政

滝瀬光一（平成会）

- ・総合振興計画
- ・子ども子育て支援新制度施行後の児童保育の現状と課題
- ・健康づくりに関する健康ポイント制度（インセンティブ）の導入

他1件

保角美代（公明党）

- ・防災対策
- ・障がい者施設での就労支援
- ・産前産後ケア

他1件

交通安全策

問1 後期高齢者の運転免許返納について

答1 運転免許証は広く身分証明書として利用されていることから、返納に当たっては、公安委員会から運転経歴証明書が発行されて

います。運転免許センターと各警察署（鴻巣警察署を除く）で申請することができ、交付手数料千円で返納した日から5年以内に返納者本人の申請により取得できます。運転免許を自主返納した高齢者に対して特典をつけてはどうかとの提案ですが、埼玉県警察ではシルバーサポート制度を設け、運転経歴証明書を高齢者運転免許証自主返納のロゴマ

ークのある協賛店や施設で提示することによりタクシー料金や物品購入の割引等様々な特典を受けることができます。協賛店については埼玉県警察のホームページに掲載されています。市としては埼玉県警察で実施しているシルバーサポート制度をPRするとともに、その状況を確認し特典制度の有効性、必要性等を検討したいと思います。

総合振興計画

問1 行政評価による次年度予算等への反映について

答1 行政評価の結果については、次年度の予算編成の参考とするとともに、効率的な財源配分を図るよう、財政部局との連携を進め、

より効果的に次年度の事業を実施することができるよう努めていきます。さらに、後期基本計画策定時には計画自体の進捗を確認する指標として活用していきたいと考えています。

問2 新しい総合振興計画にするために策定を急がず、市民と行政と議会の協働で策定をすべきではないか

答2 多くの市民に参加をしていただいて、今後の北

本市の発展、そして市民の皆さんの幸せのため、どうあるべきかということについては、時間をかけて検討してもいいと思っています。しかしながら、北本市自治基本条例では「市は、第4条に規定する基本原則にのっとり、総合的かつ計画的な市政運営を図るための基本構想及びこれを実現するための計画を策定しなければならない」とあります。

第四次総合振興計画が今年度で終了することから、来年度には第五次を急いで策定しなければならないのか、又は第四次の期限を1年間延長し、時間をかけて策定し得ることが可能なのかも踏まえて検討した上で、早急に議会へ提案し協議いたします。



学校給食

問1 未納者対応について

答1 学校給食に要する費用のうち食材費は、学校給食法で保護者の負担とされています。中学校における給食費未納額の増加により、食材の購入費が不足し、給

食の提供に支障が出る恐れが生じました。各中学校で4・5・6月の3か月未納が続いた場合は給食の提供を中止するとした学校だよりを配布したことが新聞やテレビやネット等で取り上げられて大きな関心を集めました。この未納問題については、以前から未納家庭に対し電話連絡や通知等で督促を行ってきました。今回の学校だより配布後は家

庭を訪問する、また教育委員会担当者が学校での面談に同席する等、きめ細かい働きかけを続けた結果、対象となる全ての保護者が支払いを済ませたか、期日までの納入の意思表示をして頂いたことにより7月から給食を中止した中学校はありませんでした。今後も各中学校と十分に連携を図り未納問題に対応をしていきます。

問2 給食のアレルギー対応について

答2 本市の児童・生徒の現状ですが、本年9月1日現在、食物アレルギーを有する小学生が156名、中学生は78名、となっています。今後も安全性を最優先して食物アレルギーを有する児童生徒一人一人に適切な対応ができるよう努めます。

金子真理子（緑風会）

- ・あまみずと雨水排水対策
- ・子どもの貧困
- ・北本駅西口駅前広場の照度・輝度の改善

他1件

今関公美（緑風会）

- ・庁舎ホールの活用
- ・学童保育室の改善
- ・防災

他2件

北原正勝（みらい）

- ・第五次北本市総合振興計画策定
- ・人口減への取組み
- ・南部地域の整備事業

他1件

日高英城（緑風会）

- ・スポーツ振興政策
- ・市内集合住宅に対する取組み
- ・北本駅東口ロータリー

他2件

工藤日出夫（緑風会）

- ・総合振興計画の今日的意義と第五次北本市総合振興計画の位置づけ
- ・まち・ひと・しごと創生総合戦略
- ・地域医療総合戦略（ビジョン）構築の必要性

松島修一（平成会）

- ・路線バス等の未運行地域に対するバスの運行
- ・本市における今後の教育
- ・シルバー人材センターの活用

他1件

岸 昭二（公明党）

- ・学校教育
- ・北本市の魅力発信する事業
- ・独居老人対策

他1件

18歳選挙

問1 周知・啓発について

答1 去る6月17日に選挙権年齢を満18歳以上に引き下げる公職選挙法等の一部を改正する法律が成立し、来年夏に予定される参議院議員通常選挙から年齢満18

歳・19歳の方が投票でき、又選挙運動を行うことも可能となります。選挙管理委員会としては、新たに投票の権利を得る若者の政治参加への意識の向上、投票し

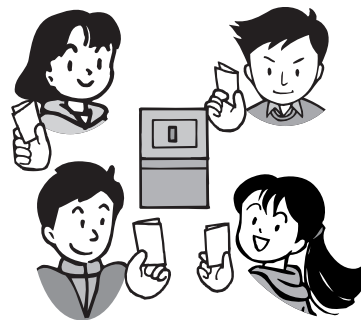
易い環境の整備、選挙に関する情報提供の充実が重要と考えます。特に、18歳に

と連携し進めたいと考えています。

問2 選挙教育について

答2 昨今の選挙結果を見ますと年齢層が低いほど投票率が低い傾向にあります。このような中で来年の参院選より18歳選挙が行われますが、そのため高校生に対する選挙教育の必要性が高まると共に、義務教育段階からの準備が大切であると考えます。教育委員会とし

ては、単なる知識としての選挙ではなく、自治としての選挙の意味を教え体感させる教育の推進に努めます。



学童保育室

問1 大規模学童保育室の分割について

答1 放課後児童クラブガイドラインに基づき、利用人数の多かった西、北、東学童保育室については第2学童保育室を設置し、おお

むね40人以下となっています。しかし現在南学童保育室は63名、中丸学童保育室は78名と40人を超えているため、条例の経過措置期間ではありますが、喫緊の課題とし認識し、全体の施設の状況を踏まえて検討して

いきます。

問2 老朽化した学童保育

室の建て替えについて

答2 中丸学童保育室と南学童保育室は今年度から来

年度にかけ、現在の位置に新たに保育室を設置します。西第1学童保育室は、修繕しても長期使用が困難であることから、調査設計委託を今年度中に終了し、来年度に学校の敷地内に設置する計画です。

問3 指導員の処遇改善について

答3 放課後指導支援員は保育士や社会福祉士等の有資格者で、県の行う研修を

終了する者となっています。平成31年までに受講する必要があり、なるべく早い時期に指導員に受講していただき、より良い学童保育室の運営を図ってまいります。給与については、指定管理者が決めています、必要に応じて協議しながら進めます。



傍聴のご案内

議会では、皆さんの生活に密着した重要な問題を審議しています。

身近な市政を知るためにも、議会を傍聴してみませんか。

諏訪善一良（仮称北本会）

- ・市長の街づくりの姿勢
- ・北本市における教育・社会教育の実践
- ・公正な選挙

他1件

黒澤健一（平成会）

- ・市長の政治姿勢と市政運営方針
- ・不当利得返還請求義務付け住民訴訟事件の取り下げ
- ・公立保育所の再編（建替）

他1件

次回の定例会は、

11月27日（金）

開会の予定です。

建設経済常任委員会

「マイナンバー制度」

Q. 制度導入によるメリットと情報漏えい対策

A. マイナンバー制度導入によるメリットについては、今後、マイナンバーを活用することで年金や福祉等の社会保障の分野、また、税務関係で申請時に用意しなければならない書類の見直しにより、行政手続きが簡素化されることから、市民の負担が軽減されます。例えば、平成28年1月以降に交付される個人番号カードは、顔写真付きの公的な身分証明書として、本人確認の書類として取扱いが可能となります。また、児童手当の現況届や厚生年金の請求時に年金事務所に申請する書類等が簡素化されます。今後においては、雇用保険の資格取得や医療保険の給付の請求等で手続きの簡素化が見込まれます。

市としての情報漏えいの対策としては、情報システムを統括している政策推進課や関連する課と連携を図りながら慎重に対応していきます。

保健福祉常任委員会

「救急医療体制業務経費」

Q. 経費の増減の理由は何か

A. 地区を構成している各市町の人口割合で増減しますが、特に大きな増加としては埼玉県中央地区小児二次救急医療運営負担金を挙げることができます。小児二次救急医療については、これまで日曜日や祝祭日、年末年始の昼間について対応していませんでしたが、平成26年7月1日から日曜日の昼間については上尾中央総合病院が対応し、祝祭日及び年末年始の昼間については北里大学メディカルセンターと上尾中央総合病院が交代で対応することになったためです。

「保育所施設維持管理」

Q. 公立保育所のトイレ改善に係る経費について

A. 中央、栄、深井の3保育所のトイレの環境改善の工事は各保育所の建物自体が、今後長期に亘る使用に耐え得るかも考慮に入れて施工する予定です。基本的には臭気への対応と衛生面の改善ということになりますが、使いやすさにも配慮したいと考えています。全面的な改修は難しい状況ですが、3保育所の現況を十分に調査して設計を行い、速やかに工事に着手して保育環境の改善に取り組みたいと考えています。

「西学童保育室整備」

Q. 整備の今後のスケジュール等について

A. 現在西小学校の敷地外にある西学童保育室を敷地内に整備する予定です。速やかに調査設計したうえで工事費の見積もりを行いたいと考えており、できるだけ早い時期に供用が開始できるよう取り組んでいきます。敷地内のどこに整備するかは検討中ですが、第二西学童保育室と連携した使い方も配慮のうえ整備したいと考えています。

総務文教常任委員会

「公共交通」

Q. 交通空白地域への対応について

A. 民間のバス会社が運行している路線バスに加え、本市では路線バスでは補いきれない地域及び交通弱者への対応としてドアトゥドアで結ぶデマンドバスの運行を行っています。平成26年度にはさらなる交通空白地域の方への対応として、セダン型車両を1台増車しました。平成27年度で委託期間が終了することから、委託業者の選定のため地域公共交通会議を開催し、利便性の向上に向けて審議していきます。

「セーフスクール」

Q. セーフスクール認証取得の取り組みについて

A. 平成26年度に、中丸小学校と宮内中学校がセーフスクールの国際認証を取得しました。主な取り組みとして、校舎内のどこでケガが多いかを分析して校内のケガマップを作成し、掲示物で校内の危険箇所を周知させること等を行いました。また、実際に事故が起こる状況を目の前で演示するスケアード・ストレート教育技法による交通教室を実施し、どれだけ危険であるかを実感させるなどして交通安全に対する啓発を行いました。セーフスクールは、安心・安全な学校づくりを目指す上で意義のある取り組みでこれからも継続して行うことを考えています。現在は、各学校でセーフスクール担当を設置し取り組みを情報共有するなど、市内全体でこの取り組みを広めていくことを進めています。

議会報告会

○第8回議会報告会を開催しました

去る10月10日(土)に北部公民館及び11日(日)にコミュニティセンターにおいて、第8回議会報告会を開催しました。10日には27名、11日には40名の参加がありました。

各回ともに正副議長をはじめ議会運営委員及び各常任委員会正副委員長をはじめ、各議員が出席し、第一部は、9月定例会での審査概要などの報告や報告に対する質疑応答を行い、第二部として参加者の皆様のご意見やご要望などをお聴きする意見交換会を行いました。



主な提出案件の結果一覧

議 案 名		議決結果	平成会	みらい	緑風会	公明党	日本共産党	仮称北本会
市長提出議案	平成26年度北本市一般会計歳入歳出決算の認定について	認 定	○	○	○	○	×	○
	平成26年度北本市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定	○	○	○	○	○	○
	平成26年度北本都市計画事業久保特定土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定	○	○	○	○	×	○
	平成26年度北本市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定	○	○	○	○	○	○
	平成26年度北本市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定	○	○	○	○	○	○
	平成26年度北本市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定	○	○	○	○	○	○
	平成26年度埼玉県央広域公平委員会特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定	○	○	○	○	○	○
	北本市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定について	可 決	○	○	○	○	×	○
	北本市執行機関の附属機関に関する条例の一部改正について	可 決	○	○	○	○	○	○
	北本市個人情報保護条例の一部改正について	可 決	○	○	○	○	×	○
	北本市税条例の一部改正について	可 決	○	○	○	○	×	○
	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	可 決	○	○	○	○	×	○
	市道の路線の廃止について	可 決	○	○	○	○	○	○
	教育委員会委員の任命について	同 意	○	○	○	○	○	○
	平成27年度北本市一般会計補正予算（第2号）	可 決	○	○	○	○	○	○
	平成27年度北本市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可 決	○	○	○	○	○	○
	平成27年度北本都市計画事業久保特定土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）	可 決	○	○	○	○	○	○
	平成27年度北本市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	可 決	○	○	○	○	○	○
	平成27年度北本市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可 決	○	○	○	○	○	○
	平成27年度北本市介護保険特別会計補正予算（第2号）	可 決	○	○	○	○	○	○
提出委員会	北本市議会会議規則の一部改正について	可 決	○	○	○	○	○	○
議員提出議案	農作物被害の補償等に関する意見書	可 決	○	○	○	○	○	○
	一級河川江川の早期整備改修に関する意見書	可 決	○	○	○	○	○	○
請願	第五次北本市総合振興計画策定に係わる請願	採 択	○	○	○	○	○	○

※訂正とお詫び
第93号（8月1日発行）の各会派の議員数に誤りがありましたので、下記のとおり訂正させていただきます。

各会派の議員数	平成会【5人】、みらい【5人】、緑風会【4人】、 公明党【3人】、日本共産党【2人】、（仮称）北本会【1人】
---------	---

○は議案に対して賛成の会派
×は議案に対して反対の会派
△は議案に対して賛成と反対のあった会派

議 会 広 報 委 員	
委員長	湯沢美恵
副委員長	北原正勝
委員	日高英城
委員	松島修一
委員	島野和夫

編集後記

9月議会は、市長提出議案及び報告（決算7件、条例5件、事件議決2件、予算6件）が総括質問及び各常任委員会付託を通して審議されました。議案の内容は平成26度決算、及び『マイナンバー制度』（平成27年10月からマイナンバー通知、28年1月から運用）関連が主体でした。一般質問は、時宜を得たまた、地域に密着したテーマが取り上げられ活発な論議が交わされました。

『きたもと議会だより』の編集は今回で2回目となりますが「未だ力及ばず」です。市議会の活動を市民の皆さんに判り易くお伝えすべく継続的に改善してまいります。

（北）